

2027年度

学生募集要項

総合情報学研究科

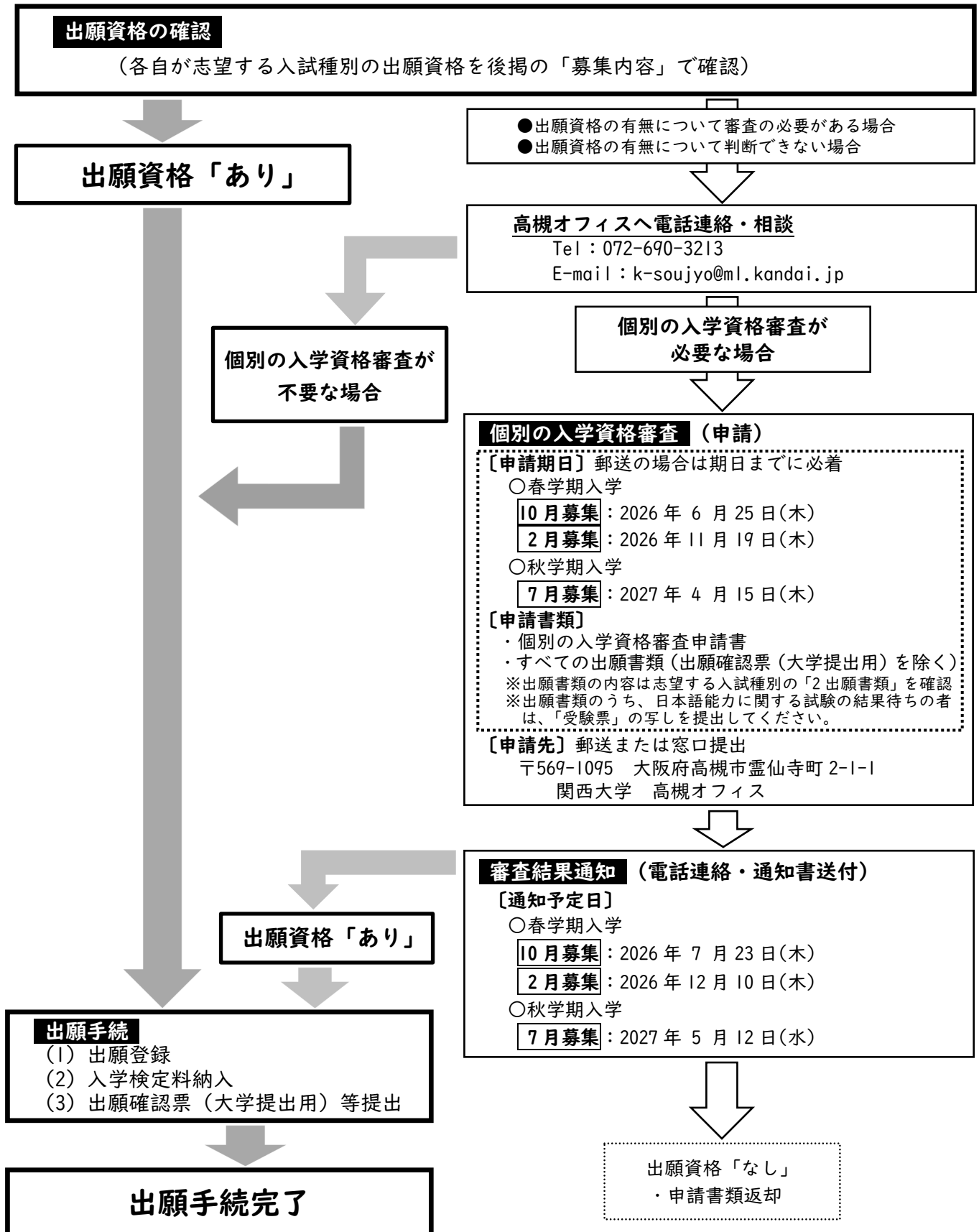
大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』も必ずご確認ください。

関西大学大学院

目 次

| | | |
|-----|-----------------------------------|-------|
| I | 出願前の確認 | 1 |
| II | 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) | 2 |
| III | 2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧 | 2～3 |
| IV | 募集内容 | 4 |
| ■ | 博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員 | 4 |
| | 一般入学試験(春学期入学・秋学期入学) | 5～7 |
| | 外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学) | 8～10 |
| | 社会人入学試験(春学期入学・秋学期入学) | 11～13 |
| | 2027年度 総合情報学研究科(前期課程)授業科目および担任者一覧 | 14 |
| | 2027年度 総合情報学研究科(前期課程)課題研究科目一覧 | 15～18 |
| | 長期履修学生制度について | 19 |
| ■ | 博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員 | 20 |
| | 一般入学試験(春学期入学・秋学期入学) | 21～23 |
| | 外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学) | 24～26 |
| | 2027年度 総合情報学研究科(後期課程)授業科目および担任者一覧 | 27 |
| V | 出願書類に関する注意事項 | 28～29 |

I 出願前の確認



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。
ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

総合情報学研究科では、研究者養成ならびに高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的な知識・技能を修得している。
- 2 豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び「情報スペシャリスト」への強い意欲を持っている。
- 3 本学の学是である「学の実化（学理と実際との調和）」に基づいた情報学の理論及び応用の研究の実現を目指し、その成果をもって情報社会の進展に貢献できる力を有している。

後期課程

総合情報学研究科では、急激に発展拡大しつつある情報分野において独創性のある研究に挑戦する人材「情報パイオニア」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士前期課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的で高度な知識・技能を修得している。
- 2 豊かな学識のもと、独創性のある研究に挑戦する研究者への強い意欲を持っている。
- 3 文系や理系という枠組みにとらわれることなく、両分野にまたがる新しい領域を切り拓き、先駆的な研究成果を創生させる研究者としての潜在能力を有している。

Ⅲ 2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、出願登録、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。

出願登録のみでは出願したものとして取り扱いません。

出願に際しては本冊子および『学生募集要項 別冊（研究科共通）』に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

【春学期入学】

| 日程 | 10月募集 | | 2月募集 | |
|---------------------------------|---|------------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 入学定員 | 【社会情報学専攻】 【知識情報学専攻】 【総合情報学専攻】 | | 前期課程：15名 前期課程：35名 後期課程：8名 | |
| 課程 | 前期課程 | 後期課程 | 前期課程 | 後期課程 |
| 入試種別 | ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 | ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 | ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 | ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 |
| 出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間 | 2026年8月21日(金)～9月4日(金) | | 2026年12月18日(金)～2027年1月8日(金) | |
| 受験票ダウンロード 開始日 | 2026年10月5日(月) | | 2027年2月15日(月) | |
| 試験日 | 2026年10月10日(土) (予備日)2026年10月24日(土) | | 2027年2月20日(土) (予備日)2027年2月21日(日) | |
| 合格者発表日 | 2026年10月16日(金) (予備日)2026年10月30日(金) | | 2027年2月26日(金) | |
| 入学手続Ⅰ-(1) | 2026年10月16日(金)～10月30日(金) (予備日)2026年10月30日(金)～11月13日(金) | | 2027年2月26日(金)～3月15日(月) | |
| 入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ | 2027年2月15日(月)～3月15日(月) | | | |

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【秋学期入学】

| 日 程 | 7 月 募 集 | |
|---------------------------------|--|--|
| 入学定員 | 【社会情報学専攻】 【知識情報学専攻】 【総合情報学専攻】 | 前期課程：15 名 前期課程：35 名 後期課程：8 名 |
| 課 程 | 前期課程 | 後期課程 |
| 入試種別 | <ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 | <ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 |
| 出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間 | 2027 年 5 月 20 日(木)～6 月 3 日(木) | |
| 受験票ダウンロード 開始日 | 2027 年 7 月 5 日(月) | |
| 試験日 | 2027 年 7 月 10 日(土) (予備日)2027 年 7 月 24 日(土) | |
| 合格者発表日 | 2027 年 7 月 16 日(金) (予備日)2027 年 7 月 30 日(金) | |
| 入学手続 I-(1) | 2027 年 7 月 16 日(金)～7 月 30 日(金) (予備日)2027 年 7 月 30 日(金)～8 月 23 日(金) | |
| 入学手続 I-(2) 入学手続 II | 2027 年 8 月 20 日(金)～9 月 3 日(金) | |

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日 7 時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (<https://kansai-u.ac.jp/>) で別途案内しています。

IV 募集内容

総合情報学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 |
|----------|---------|------|
| 総合情報学研究科 | 社会情報学専攻 | 15名 |
| | 知識情報学専攻 | 35名 |

注 入学学期ごと、入試種別ごとの募集人員は設定していません。

■ 専門社会調査士への道

総合情報学研究科博士課程前期課程は、社会調査協会から「専門社会調査士」科目設置大学院として認定を受けています。

社会調査協会が認定する「専門社会調査士」の資格申請を希望する者は、次の4要件を満たす必要があります。

- ① 社会調査士資格を有すること（専門社会調査士と同時申請可能）
- ② 総合情報学研究科が指定する対象科目の単位を修得すること
- ③ 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること
- ④ 博士課程前期課程を修了すること

詳細については、社会調査協会のウェブサイト (<https://jasr.or.jp>) を参照してください。

M 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

日本語以外を母語とする者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験（JLPT）」N1（2009年度以前：1級）に合格している者、または「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）270点以上得点している者

ただし、「日本留学試験（EJU）」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

（注1）修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

（注2）外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2027年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した「日付」および「教員名」を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、28～29 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

| 出願書類【書類番号】 | 備考 |
|--|--|
| 出願確認票(大学提出用)【①】 | 出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。 |
| 志望理由書【②】 | 本学所定の用紙 |
| 出身大学等の成績証明書【③】 | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業(見込)証明書【④】 | <p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p> |
| 研究計画書【⑤】 | 概要 1,000 字程度 本学所定の用紙 |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。) | <p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p> |
| 写真 1枚 | 出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 |

注 日本語以外を母語とする者は、上記の出願書類に加え、「日本語能力試験(JLPT)」N1(2009年度以前:1級)合格を証明する『合否結果通知書』もしくは『認定結果及び成績に関する証明書』を提出してください。または「日本留学試験(EJU)」の「日本語(記述含む)」を270点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたものを提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問

4 合否判定基準

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、総合情報学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・配点および試験時間

| 試験科目 | 配点 | 試験時間 | 留意事項 |
|----------------|-----|------------|---------------------|
| 筆記試験 〔専門科目〕 | 100 | 10時～11時30分 | 志望する課題研究科目ごとに出題します。 |
| 口頭試問 | — | 13時～ | |

専門科目として「英語能力を問う問題」を出題する場合があります。

なお、「英語能力を問う問題」を出題する場合、本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第7版』（研究社））の参照を許可します。

M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

出願資格(1)・(3)・(5)で出願する者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験(JLPT)」NI(2009年度以前：I級)に合格している者、または「日本留学試験(EJU)」で日本語(記述含む)270点以上得点している者
ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2027年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した「日付」および「教員名」を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、28～29 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

| 出願書類【書類番号】 | 備考 |
|------------------------------|---|
| 全ての志願者が提出する書類 | |
| 出願確認票(大学提出用)【①】 | 出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。 |
| 日本語による志望理由書【②】 | 本学所定の用紙 |
| 出身大学等の成績証明書【③】 | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業(見込)証明書【④】 | <p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p> |
| 日本語による研究計画書【⑤】 | 概要 1,000 字程度 本学所定の用紙 |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 | <p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p> |
| 写真 1 枚 | 出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 |
| 出願資格(1)・(3)・(5)で出願する者 | |
| 日本語能力に関する証明書【⑩】 | <p>「日本語能力試験(JLPT)」の場合 NI(旧試験 1 級)合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験(EJU)」の場合 「日本語(記述含む)」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p> |

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問

4 合否判定基準

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、総合情報学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・配点および試験時間

| 試験科目 | 配点 | 試験時間 | 留意事項 |
|----------------|-----|------------|---------------------|
| 筆記試験 〔専門科目〕 | 100 | 10時～11時30分 | 志望する課題研究科目ごとに出題します。 |
| 口頭試問 | — | 13時～ | |

専門科目として「英語能力を問う問題」を出題する場合があります。

なお、「英語能力を問う問題」を出題する場合、本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第7版』（研究社））の参照を許可します。

M 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)または(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～クのいずれかの要件を満たした後、入学時に3年以上経過する者

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに25歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(2)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に高槻オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2027年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した「日付」および「教員名」を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、28～29 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

| 出願書類【書類番号】 | 備考 |
|--|---|
| 出願確認票(大学提出用)【①】 | 出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。 |
| 志望理由書【②】 | 本学所定の用紙 |
| 出身大学等の成績証明書【③】 | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業証明書【④】 | <p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(1)-イによる志願者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また出願資格(1)-カによる志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p> |
| 研究計画書【⑤】 | 概要 1,000 字程度 本学所定の用紙 |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。) | <p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p> |
| 写真 1 枚 | 出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 |

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問

4 合否判定基準

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、総合情報学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・配点および試験時間

| 試験科目 | 配点 | 試験時間 | 留意事項 |
|----------------|-----|------------|---------------------|
| 筆記試験 〔専門科目〕 | 100 | 10時～11時30分 | 志望する課題研究科目について行います。 |
| 口頭試問 | — | 13時～ | |

注 授業科目および担任者は変更することがあります。

変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。

<<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>>

(2026年4月現在)

2027年度 総合情報学研究科（前期課程）授業科目および担任者一覧

<社会情報学専攻>

| | 授 業 科 目 | 資 格 | 取 得 学 位 | 担 任 者 |
|----------------------------|------------------------|--|---|---|
| 課 題 研 究 科 目 | ☆ 教育における情報メディア利用 | | | |
| | ★ 情報通信技術（ICT）と新しい教育 | 教授 教授 教授 | 博（教育学）広大 Ph.D. トロント大 | ● 黒 上 晴 夫 *1 ● 小 柳 和 喜 雄 ● 川 島 裕 子 |
| | ☆ 情報社会とメディア | | | |
| | ★ 情報メディアの変容とコミュニケーション | 教授 教授 教授 | 博（人間科学）阪大 博（人間科学）阪大 | ● 岡 田 朋 之 ● 谷 本 奈 穂 ● 阪 口 祐 介 |
| | ★ 情報化社会における人間科学的アプローチ | 教授 教授 教授 | Ph.D. フロリダアトランティック大 博（文学）京大 博（学術）広大 | ● 森 尾 博 昭 ● 太 田 紘 史 ● 古 谷 嘉 一郎 |
| | ★ メディア表現とデザイン戦略による社会展開 | 教授 教授 | 博（美術）京都市立芸大 博（美術）愛知県立芸大 | ● 井 浦 崇 ● 長 谷 海 平 |
| | ☆ 産業情報システム | | | |
| | ★ デジタル社会における価値創造 | 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 | 博（経済）阪大 博（商）関学大 博（経営）神大 博（商）関大 博（国際協力）東大 | ● 伊 佐 田 文 彦 ● 古 賀 広 志 ● 齋 藤 雅 子 ● 施 山 學 昌 *1 ● 德 山 美 津 恵 ● 中 尾 悠 利 子 ● 羽 藤 雅 彦 ● 松 本 涉 |
| | ☆ 公共領域における情報 | | | |
| | ★ 公共領域におけるデータベース | 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 | 博（法）神大 博（経済）京大 博（経済）神大 博（経済）阪大 博（政治学）神大 博（法）京大 | ● 泉 克 幸 *2 ● 名 取 良 太 ● 大 堀 秀 一 ● 太 田 勝 憲 ● 中 元 康 裕 ● 宋 財 法 池 田 峻 |

<知識情報学専攻>

| | 授 業 科 目 | 資 格 | 取 得 学 位 | 担 任 者 |
|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|---|---|
| 課 題 研 究 科 目 | ☆ ヒューマンコンピュータインタラクション | | | |
| | ★ 人間共生社会におけるインタラクションの学際的分析と構築 | 准教授 教授 教授 教授 | 博（心理学）九州大 博（工）中央大 博（学際情報学）東大 博（情報科学）名大 | ● 佐々木 恭志郎 ● 多 田 昌 裕 ● 研 谷 紀 夫 ● 米 澤 朋 子 |
| | ★ インタラクションデザインの理論と実践 | 教授 教授 教授 | 工博（阪大） 博（工）阪大 博（工）名古屋工大 | ● 堀 下 雅 洋 *1 ● 松 下 光 範 ● 山 西 良 典 |
| | ★ デジタルメディア技術とアートによる情報表現 | 教授 | 博（工）名大 | ● 林 武 文 *1 |
| | ☆ インテリジェントコンピューティング | | | |
| | ★ インテリジェントコンピューティングの応用 | 教授 教授 教授 准教授 | 博（工）阪大 博（工）関大 博（工）東大 | ● 竹 中 要 一 ● 田 中 成 典 ● 友 枝 明 保 ● 小 林 孝 史 |
| | ★ スマートシステムデザインの数理と応用 | 教授 教授 教授 教授 教授 | 博（工）広大 工博（大阪府立大） 博（工）鳥取大 博（理）東京工業大 博（工）京大 | ● 広 兼 道 幸 *1 ● 林 勲 一 *1 ● 井 上 真 二 ● 奈 良 光 紀 ● 堀 口 由 貴 男 |
| | ★ 社会を変えるモバイルロボティクス | 教授 教授 | 博（工）奈良先端大 博（工）阪大 | ● 田 頭 茂 明 ● 荻 野 正 樹 |
| | ☆ コンピューティングアルゴリズム | | | |
| | ★ 人間の知覚・感覚モデルの構築と応用コンピューティング | 教授 教授 教授 | 博（工）阪大 博（工）岡山県立大 博（工）金沢大 | ● 浅 野 晃 ● 瀬 島 吉 裕 ● 林 貴 宏 |
| | ☆ 分散コンピューティング | | | |
| | ★ 通信ネットワーク技術の多面的な研究展開 | 教授 教授 教授 教授 | 博（工）阪大 理博（東北大） 博（工）神大 博（情報科学）阪大 | ● 堀 井 康 史 *1 ● 今 野 一 宏 ● 桑 門 秀 典 ● 笹 部 昌 弘 |

注1 ☆印は課題研究分野、★印は課題研究科目を示します。

注2 ●印は研究指導教員、*1印は学生募集を行わない教員、*2は秋学期入学の学生募集を行わない教員を示します。

2027年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧

*1 印は学生募集を行わない教員、*2 は秋学期入学の学生募集を行わない教員を示します。

【社会情報学専攻】

情報通信技術（ICT）と新しい教育（*1 黒上 晴夫、小柳 和喜雄、川島 裕子）

情報通信技術（ICT）の急速な発展により、Society 5.0 と呼ばれる社会が実現しようとしている。その中で、コミュニケーションの仕方や意味が大きく変わり、学習についての捉え方や、学習を支える環境も変革しつつある。これらをふまえて、これからの教育・コミュニケーションのあり方やシステムについて実証的に調査・研究を行う。

1. ICTを基盤とする学習のカリキュラム開発と評価に関する調査・研究
2. グローバル社会におけるコミュニケーション方略と教育に関する調査・研究
3. 学習の意味やメカニズムの変化、学習をうながすシステムについての調査・研究
4. 関係の中で生まれる自己／他者理解などの、学びの見方についての研究

黒上 (kurokami@kansai-u.ac.jp) 小柳 (oyanagi@kansai-u.ac.jp) 川島 (y_kawa@kansai-u.ac.jp)

情報メディアの変容とコミュニケーション（岡田 朋之、谷本 奈穂、阪口 祐介）

情報メディアの高度化はコミュニケーションや文化のグローバル化をもたらしただけでなく、産業・経済・生活などあらゆる面で大きな変化をうながしている。本プロジェクトでは新たなメディアやコミュニケーション文化の形成の兆しを視野におさめつつ、社会学的観点から以下のような調査・研究を行う。

1. メディア・エコシステムの新たな展開
2. 文化、コミュニケーションあるいは社会的行為の様式の変容
3. メディア・イノベーションの現代史的考察

岡田 (okada@kansai-u.ac.jp) 谷本 (tanimoto@kansai-u.ac.jp) 阪口 (yusuke@kansai-u.ac.jp)

情報化社会における人間科学的アプローチ（森尾 博昭、太田 紘史、古谷 嘉一郎）

我々は社会のなかで様々な情報に囲まれて生活している。本プロジェクトにおいては、情報と人間との関係性に焦点を当て、人が社会のなかでいかなる情報を求めているのか、そして、人は情報を受けとめたことによってどのような影響を受けるのか、また、人は他者といかに情報をやりとりしているのか、さらには、社会の情報化が生み出す諸問題に人としてどのように向き合うのかといった問題をとりあげ人間科学的アプローチから研究を進めていく。

森尾 (hmorio@kansai-u.ac.jp) 太田(紘) (ota.koji@kansai-u.ac.jp) 古谷 (kaichiro@kansai-u.ac.jp)

メディア表現とデザイン戦略による社会展開（井浦 崇、長谷 海平）

本プロジェクトは、メディアアートおよび映像芸術を基盤とする創造的実践を出発点に、デザインおよびデザインマネジメントの展開を通じて社会実践へ接続する統合型研究である。社会実践は実用化に限定せず、芸術実践研究の視座から制作過程を含めて実験的かつ公開性の高い形で展開することを重視する。制作を軸としつつ理論的検討と技術的探究を循環させることで、多様化するメディア環境に対応した持続的な創造モデルを構築し、芸術的価値と社会的意義を接続する新たな実践知の確立を目的とする。

井浦 (iura@kansai-u.ac.jp) 長谷 (hase@kansai-u.ac.jp)

デジタル社会における価値創造

(伊佐田 文彦、古賀 広志、齋藤 雅子、*1 施 學昌、徳山 美津恵、中尾 悠利子、羽藤 雅彦、松本 渉)

今日、デジタル化・グローバル化・エコロジカル化などの環境変化や社会構造の変化に直面する現代企業は、データとデジタル技術を活用した組織変革が求められている。本課題研究では、このような変革を「価値創造活動の再編成」として捉え、それを実現していく上での課題を明らかにしていく。このとき、持続的な企業価値向上に資する経営学のさまざまな研究分野をクロスオーバーさせることで、デジタル社会における価値創造の課題を検討していく。

伊佐田 (isada@kansai-u.ac.jp) 古賀 (hiroshi@kansai-u.ac.jp) 齋藤 (msaito@kansai-u.ac.jp)
施 (shi@res.kutc.kansai-u.ac.jp) 徳山 (toku_san@kansai-u.ac.jp) 中尾 (y-nakao@kansai-u.ac.jp)
羽藤 (hato@kansai-u.ac.jp) 松本 (matsumo@kansai-u.ac.jp)

公共領域におけるデータベース

(*2 泉 克幸、名取 良太、大堀 秀一、太田 勝憲、中元 康裕、宋 財滋、池田 峻)

公共的な問題を解決するためには、正確に現状を把握し、適切な方法によって原因を解明することが緊要である。

そこで本研究課題では、政府統計・社会調査データや、白書・法令等の文書情報を活用し、統計分析・シミュレーション・数理分析・質的分析など多様な分析メソッドにより、実態を解明していくことを第一の目的とする。また、散在したり、汎用性が低かったりするデータを収集・加工し、データベースに格納する方法を検討し、実装することを第二の目的とし、これらの目的に沿いながら、社会的諸課題について考えを深めていく。

泉 (izumi@kansai-u.ac.jp) 名取 (t000033@kansai-u.ac.jp) 大堀 (ohori@kansai-u.ac.jp)
太田 (勝) (ohta@kansai-u.ac.jp) 中元 (nakamoto@kansai-u.ac.jp) 宋 (song@kansai-u.ac.jp)
池田 (s_ikeda@kansai-u.ac.jp)

【知識情報学専攻】

人間共生社会におけるインタラクションの学際的分析と構築

(佐々木 恭志郎、多田 昌裕、研谷 紀夫、米澤 朋子)

本研究課題では、人間とコンピュータ（あるいはコンピューティングシステム）とのインタラクションについて、認知心理学実験や哲学的・歴史的検討を通じて多角的に基礎研究を行うとともに、実践的なシステム構築を通じて人間とシステム、あるいは人間同士のインタラクションやコミュニケーションのあり方について、メディア科学の立場から理論的研究を行う。これらの研究を通して、社会におけるコンピューティングシステムのありようについて、技術の標準化や倫理観の確立といった文化的側面から検討し、実装につなげるための基礎理論の構築をめざす。

佐々木 (k-ssk@kansai-u.ac.jp) 多田 (m-tada@kansai-u.ac.jp) 研谷 (ntogiya@kansai-u.ac.jp)
米澤 (yone@kansai-u.ac.jp)

インタラクションデザインの理論と実践 (*|堀 雅洋、松下 光範、山西 良典)

本課題研究では、人間とコンピュータとのインタラクション、およびコンピュータを介した人間同士のインタラクションを対象として、知識情報処理の観点からその円滑化と高度化に取り組む。この目標を達成するために、ソフトウェア技術、実世界指向技術、人間中心設計方法論を基盤とする理論構築とその応用・実践を進めていく。個々の学生は、人間の情報処理特性のモデル化、システムやユーザ経験のデザインと評価、いずれかを主なテーマとしつつプロジェクト全体への貢献が求められる。

堀 (horim@kansai-u.ac.jp) 松下 (m_mat@kansai-u.ac.jp) 山西 (ryama@kansai-u.ac.jp)

デジタルメディア技術とアートによる情報表現 (*|林 武文)

本研究課題は、情報コンテンツにおけるよりよい情報表現の方法を明らかにすることを目的としている。情報の可視化、可聴化、映像やメディアアート作品の制作などデジタルメディア技術とアートによる情報コンテンツの構築および評価を通して、受け手の直感・イメージ・感性などの主観的な情報処理メカニズムの把握と活用方法を明らかにし、それに基づく最適な情報表現について模索する。関連するトピックには、視聴覚情報処理、音楽・映像理論、インスタレーション、ヒューマンコンピュータインタラクション、プロジェクションマッピング、バーチャルリアリティなどが含まれる。

林 (武) (haya@kansai-u.ac.jp)

インテリジェントコンピューティングの応用 (竹中 要一、田中 成典、友枝 明保、小林 孝史)

本研究課題では、インテリジェントコンピューティングの重要な部分を占めるソフトコンピューティングとして、人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、データサイエンス、数理モデルとそのシミュレーション等の基礎理論を習得し、制御、スケジューリング、テキストマイニング、渋滞緩和、経路設定、錯視作品創作、生物情報解析、情報システムセキュリティに対する実用システムの開発を試みる。さらに、GIS、GPSに基づくヒト・モノ・コトの計測処理、特にスポーツ情報処理、情報システムセキュリティ分野及び自然科学分野へのインテリジェントコンピューティングの応用についても研究する。

竹中 (takenaka@kansai-u.ac.jp) 田中 (stanaka@kansai-u.ac.jp) 友枝 (tomoeda@kansai-u.ac.jp)
小林 (taka-k@kansai-u.ac.jp)

スマートシステムデザインの数理と応用

(*| 広兼 道幸、*| 林 勲、井上 真二、奈良 光紀、堀口 由貴男)

インテリジェントコンピューティング技術を基盤として、快適・安全・安心な「スマート社会」を実現するシステムデザインの理論と応用に関する研究を行う。研究対象には、快適さ・楽しさ・しなやかさ・効率性等を高い水準で実現する知的情報処理のためのソフトコンピューティングモデルやAIモデル、システムの信頼性や安全性を評価するための確率・統計モデル、解析系の数学に基づく数理モデル、および、これらの実践的応用が含まれる。具体的には、さまざまなセンシングデータから知的な振舞いを生成するための認識・判断・学習・推論プロセスの計算モデル、人の作業を知的に支援する情報デザイン、品質に根ざしたシステム評価、数値シミュレーションや最適化等が研究テーマとして挙げられる。

広兼 (hirokane@kansai-u.ac.jp) 林 (ihaya@kansai-u.ac.jp) 井上 (ino@kansai-u.ac.jp)
奈良 (nara@kansai-u.ac.jp) 堀口 (yhorig@kansai-u.ac.jp)

社会を変えるモバイルロボティクス (田頭 茂明、荻野 正樹)

本課題研究では、ロボット技術とモバイルネットワーク技術とを有機的に連携させて、能力強化、並列分散操作、体験共有など、ロボットの自律動作と遠隔操作を組み合わせた新たな価値を創造し、実用可能なモバイルロボットプラットフォームの研究を行う。また、ものづくり・医療分野、サービス分野、防犯・災害対策分野などにおいてモバイルロボットの社会実装を目指し、そこで生じる問題について技術・認知・倫理・経済などの観点から多面的に分析を行う。

田頭 (shige@kansai-u.ac.jp) 荻野 (ogino@kansai-u.ac.jp)

人間の知覚・感覚モデルの構築と応用コンピューティング (浅野 晃、瀬島 吉裕、林 貴宏)

本課題研究科目では、視覚・聴覚といった人間の知覚・感覚とコンピューティングを融合した研究に取り組む。例えば、人間の知覚能力や特性を考慮したユーザーインターフェイス、映像や音声といった異なるモダリティの情報を統合的に扱うマルチメディアデータベースの設計、人間の生体・行動情報に基づくソーシャルロボットの設計などである。具体的には、色彩や図形の認知の問題を通じて人間の知覚能力を考慮した速やかな理解を支援する研究や、多様な形式の情報を統合的に扱うマルチメディアデータベースの設計などの研究、人間の視線や瞳孔・心拍からロボットとの心地よい対話環境を設計する研究を行う。

浅野 (a.asano@kansai-u.ac.jp) 瀬島 (sejima@kansai-u.ac.jp) 林 (貴) (t.haya@kansai-u.ac.jp)

通信ネットワーク技術の多元的な研究展開

(堀井 康史、*| 今野 一宏、桑門 秀典、笹部 昌弘)

コンピュータ、携帯型無線端末、センサー等の多種多様なデバイスが接続されたネットワークにより、我々の生活は、その進展とともに大きく変貌を遂げようとしている。本課題研究では、アプリケーション層から物理層までの様々な観点から通信ネットワーク技術の研究開発を行い、より快適な生活の実現に貢献することを目的とする。具体的な研究内容としては、生体における信号処理システムの工学的視点からの解明、代数曲線に関する基礎研究とその暗号・符号理論への応用、量子アルゴリズムを用いた暗号技術の研究開発、数理的手法（最適化、ゲーム理論、機械学習など）に基づく高度情報ネットワークの研究開発を行う。

堀井 (horii@kansai-u.ac.jp) 今野 (k.konno@kansai-u.ac.jp) 桑門 (kuwakado@kansai-u.ac.jp)
笹部 (sasabe@kansai-u.ac.jp)

長期履修学生制度について

総合情報学研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、従来の博士課程前期課程における2年コースの他に修業年限を3年とし、授業科目を計画的に履修する「3年コース」を実施しています。この制度の特徴は下記のとおりです。

(1) 履修制限単位

本制度により入学する者には、履修制限単位数を変更します。

| コース | 1年次 | 2年次 | 3年次 |
|-------|-----|-----|-----|
| 2年コース | 28 | 28 | — |
| 3年コース | 20 | 20 | 16 |

(2) 3年コースにおける授業科目の配当年次

| | |
|----------|--|
| 総合情報学研究科 | 修士論文の研究指導科目である論文指導を3年次配当とし、修士論文提出は3年次とします。 |
|----------|--|

(3) 在学期間の途中変更

2年次に進む段階で、研究科において定められた次の条件を満たす場合は、願い出により、3年コースから2年コースへ変更することができます。その場合、2年次の履修制限単位数は28単位とします。

なお、対象者には1年次の秋学期（秋学期入学者については1年次の春学期）にインフォメーションシステムにてお知らせします。

ただし、2年コースから3年コースへの変更はできません。

| | |
|----------|----------------------------------|
| 総合情報学研究科 | 1年次終了時に修士論文の提出要件である16単位を修得していること |
|----------|----------------------------------|

(4) 在学年限

在学年限は2年コース、3年コースとも4年です。

(5) 修了要件

修了要件は2年コース、3年コースともに同じです。3年コースでは、2年コースと同じ修了要件を3年かけて履修します。詳細は関西大学教務ガイド「KAN-CAN!」を参照してください。

(6) 学費

在学期間を途中で変更（3年から2年）した場合の学費総額は、標準修業年限（2年）の学費総額と同額となります（正確な納入金額については、手続き時にご確認ください）。

長期履修学生制度により3年コースを希望する場合は、出願登録の際に「長期履修学生制度」欄で「3年コース」を選択してください。どちらのコースを選択しても合否判定には関係ありません。

なお、合格後に選択したコースの変更を希望する場合は、春学期入学：2027年1月8日（金）まで、秋学期入学：2027年7月23日（金）までに、大学院入試グループまでその旨をご連絡ください。

また、2月募集の合格者は、入学前にコース変更を申し出ることはできませんのでご注意ください。

総合情報学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 |
|----------|---------|------|
| 総合情報学研究科 | 総合情報学専攻 | 8名 |

注 入学学期ごと、入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2027年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する研究領域の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した「日付」および「教員名」を記入してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、28～29ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

| 出願書類【書類番号】 | 備考 |
|-----------------|-----------------------------------|
| 全ての志願者が提出する書類 | |
| 出願確認票（大学提出用）【①】 | 出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。 |
| 志望理由書【②】 | 本学所定の用紙 |

| | |
|--|---|
| <p>出身大学院の成績証明書【③】</p> | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p> |
| <p>出身大学院の修了（見込）証明書【④】</p> | <p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> |
| <p>研究計画書【⑤】</p> | <p>概要 1,000 字程度 本学所定の用紙</p> |
| <p>在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)</p> | <p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p> |
| <p>写真 1 枚</p> | <p>出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> |
| <p style="text-align: center;">出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、 [春学期入学] 2027 年 3 月および [秋学期入学] 2027 年 9 月修了見込の者</p> | |
| <p>修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※</p> | <p>2,000 字程度 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p> <p>本研究科前期課程を修了見込みの者は提出不要です。</p> |
| <p style="text-align: center;">出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士の学位を有する者</p> | |
| <p>修士論文の概要【⑥】</p> | <p>2,000 字程度 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p> |
| <p>修士論文の写し【⑦】</p> | <p>3 部</p> |
| <p style="text-align: center;">出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合</p> | |
| <p>研究業績報告書【⑧】</p> | <p>研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 3 部</p> |
| <p>研究業績【⑨】</p> | <p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各 3 部</p> |

※ 本研究科前期課程在籍者以外の者で、2027 年 3 月修了見込みの者が 2 月募集（春学期入学）に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」に限り、2027 年 1 月 15 日(金)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2027 年 1 月 15 日(金)時点においても修士論文の概要を提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問

4 合否判定基準

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、総合情報学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・配点および試験時間

| 試験科目 | | 配点 | 試験時間 | 留意事項 |
|------|------|-----|------------|---------------------------------------|
| 筆記試験 | 専門科目 | 100 | 10時～11時30分 | 志望する研究領域について行います。 |
| | 英語 | 100 | 13時～14時30分 | 本学で準備した辞書（『新英和中辞典第7版』（研究社））の参照を許可します。 |
| 口頭試問 | | — | 15時～ | |

D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

(1)、(4)、(5)で出願する者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験（JLPT）」N1（2009年度以前：1級）に合格している者、または「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）270点以上得点している者

ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2027年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する研究領域の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した「日付」および「教員名」を記入してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、28～29ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

| 出願書類【書類番号】 | 備考 |
|-----------------|-----------------------------------|
| 全ての志願者が提出する書類 | |
| 出願確認票（大学提出用）【①】 | 出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。 |
| 日本語による志望理由書【②】 | 本学所定の用紙 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| <p>出身大学院の成績証明書【③】</p> | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p> |
| <p>出身大学院の修了（見込）証明書【④】</p> | <p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> |
| <p>日本語による研究計画書【⑤】</p> | <p>概要 1,000 程度 本学所定の用紙</p> |
| <p>在留カードまたはパスポートの写し【⑩】</p> | <p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p> |
| <p>写真 1枚</p> | <p>出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> |
| <p>出願資格(1)、(4)、(5)で出願する者</p> | |
| <p>日本語能力に関する証明書【⑩】</p> | <p>「日本語能力試験(JLPT)」の場合 NI(旧試験 1 級)合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験(EJU)」の場合 「日本語（記述含む）」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p> |

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問

4 合否判定基準

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、総合情報学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

| 試験科目 | | 配点 | 試験時間 | 留意事項 |
|------|------|-----|------------|--|
| 筆記試験 | 専門科目 | 100 | 10時～11時30分 | 志望する研究領域について行います。 |
| | 英語 | 100 | 13時～14時30分 | 本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第7版』（研究社））の参照を許可します。 |
| 口頭試問 | | — | 15時～ | |

注 授業科目および担任者は変更することがあります。

変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。

<<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>>

(2026年4月現在)

2027年度 総合情報学専攻 (後期課程) 授業科目および担任者一覧

総合情報学専攻

| 授 業 科 目 | | 資 格 | 取 得 学 位 | 担 任 者 | |
|---------------------------|------------------------|------------------------|------------|---------------|---------|
| ★ 高度情報システム | | | | | |
| 無線情報通信のためのマイクロ波デバイス特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)阪大 | ●堀井康史 | |
| 情報セキュリティ技術とその安全性評価特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)神大 | ●桑門秀典 | |
| 高度情報ネットワークング特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(情報科学)阪大 | ●笹部昌弘 | |
| モバイル情報通信システム特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)奈良先端大 | ●田頭茂明 | |
| ★ 応用ソフトコンピューティング | | | | | |
| 脳知能情報システム特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 工博(大阪府立大) | ●林 勲*1 | |
| ソフトコンピューティングの実践的応用特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)関大 | ●田中成典 | |
| ソフトコンピューティングの視覚情報処理特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)阪大 | ●浅野 晃 | |
| ソフトコンピューティングのセンシング応用特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)広大 | ●広兼道幸*2 | |
| 現象数理学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)東大 | ●友枝明保 | |
| 医学生物学情報解析特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)阪大 | ●竹中要一 | |
| 信頼性・保安全性数理特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)鳥取大 | ●井上真二 | |
| 非線形解析学特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | 博(理)東京工業大 | 奈良光紀 | |
| 知的システムデザイン特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | 博(工)京大 | 堀口由貴男 | |
| ★ 認知情報処理 | | | | | |
| ユーザ中心デザイン特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 工博(阪大) | ●堀 雅 洋 | |
| 視覚認知情報処理モデル特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)名大 | ●林 武 文 | |
| インタラクションデザイン特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)阪大 | ●松下光範 | |
| 視覚資料論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(学際情報学)東大 | ●研谷紀夫 | |
| 人間情報科学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)金沢大 | ●林 貴 宏 | |
| 仮想コミュニケーションメディア科学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(情報科学)名大 | ●米澤朋子 | |
| 交通情報学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)中央大 | ●多田昌裕 | |
| コンテンツ指向計算機科学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(工)名古屋工大 | ●山西良典 | |
| 感性インタラクション特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | 博(工)岡山県立大 | 瀬島吉裕 | |
| ★ 意思決定システム | | | | | |
| 意思決定支援 | 代数幾何学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 理博(東北大) | ●今野一宏*1 |
| | ナレッジマネジメント論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | | ●古賀広志 |
| | 調査方法論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(国際協力)東大 | ●松本 涉 |
| | 経営情報論特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | | 施 學 昌 |
| 社会的意思決定 | 国際経営戦略論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(経済)阪大 | ●伊佐田文彦 |
| | 企業会計特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(商)関学大 | ●齋藤雅子 |
| | 環境経済学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(経済)京大 | ●大堀秀一 |
| | 政治過程論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | | ●名取良太 |
| 知的財産法特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(法)神大 | ●泉 克 幸 | |
| ★ マルチモーダルコミュニケーション | | | | | |
| 学習環境デザイン | メディアミックスによる教育方法特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | | ●黒上晴夫*2 |
| | 情報教育実践論特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(教育学)広大 | ●小柳和喜雄 |
| コミュニケーション環境学 | インターネット心理学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | Ph.D.プログラム研究科 | ●森尾博昭 |
| | 文化社会学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(人間科学)阪大 | ●谷本奈穂 |
| | コミュニケーション哲学特殊研究 | 講義A 講義B 演習1 演習2 演習3 | 教授 | 博(文学)京大 | ●太田紘史 |
| | メディア・コミュニケーション論特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | | 岡田朋之 |
| | 社会行動論特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | 博(学術)広大 | 古谷嘉一郎 |
| 計量社会学特殊研究 | 講義A 講義B | 教授 | 博(人間科学)阪大 | 阪口祐介 | |

注1 ★印は研究領域を示します。

注2 出願の際は、5つの★印から1つを選択し、出願書類の「志望研究領域」欄に記入してください。

注3 ●印は研究指導教員、*1印は学生募集を行わない教員、*2は秋学期入学の学生募集を行わない教員を示します。

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

- (1) 手書きの場合、必ず黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
パソコン等を使用する場合、PDFのフォーム機能を利用して文字入力が可能です。本学所定用紙を改変することなく入力のうえ、印刷してください。ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。
- (2) 出願後、志望課題研究科目あるいは志望研究領域の変更は一切認めません。
- (3) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する専攻の課題研究科目（博士課程前期課程）・研究領域（博士課程後期課程）を選択してください。
 - ① **博士課程前期課程** 本募集要項 14ページ
「2027年度 総合情報学研究科（前期課程）授業科目および担任者一覧」
 - 博士課程後期課程** 本募集要項 27ページ
「2027年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧」
 - ② 総合情報学研究科ウェブサイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_inf/gs/)
 - ③ 関西大学大学院Information
- (4) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。
なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。
また、出願登録において代用漢字等を使用した場合については、出願書類と出願登録上の文字が異なっても問題ありません。
- (5) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (6) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。
なお、卒業（修士）論文を作成していない場合は「なし」と記入してください。
また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

(1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。

（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。

*PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。なお、PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたもの以外は発行されない場合、プリントアウトしたものに出身大学（院）等でインクスタンプを押印したものを提出すること。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書（公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可）」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

(2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。

(3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。

(4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。

(5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。

- ・2026年8月1日(土)～9月20日(日)の間の土曜日
- ・2026年8月11日(火・祝)～8月20日(木)
- ・2026年12月26日(土)～2027年1月6日(水)
- ・2027年8月1日(日)～9月20日(月・祝)の間の土曜日
- ・2027年8月11日(水・祝)～8月20日(金)

(6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。



関西大学大学院

<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：高槻ミューズキャンパス事務グループ (ミューズオフィス)

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai-adm@ml.kandai.jp